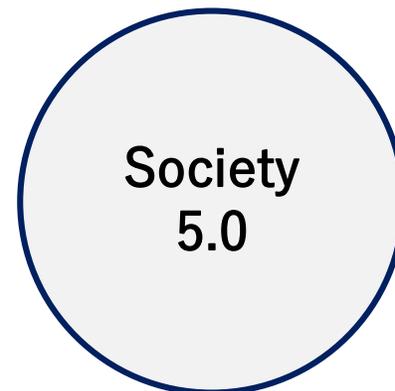




(日本マイクロソフト)  
Society 5.0の実現に向けた取り組み



政府方針



マイクロソフト  
の取組

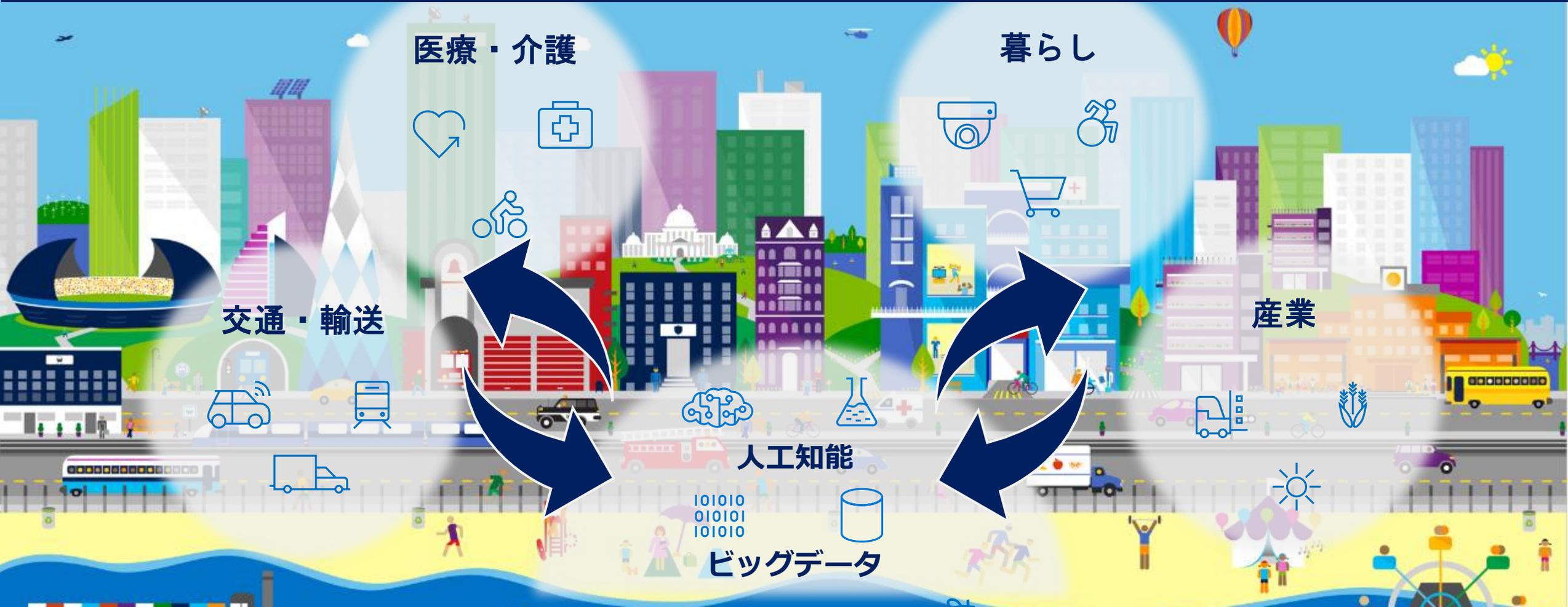


# “Society 5.0” 超スマート社会の実現

超スマート社会とは、

必要なもの・サービスを、必要な人に、必要な時に、必要なだけ提供し、社会の様々なニーズにきめ細かに対応でき、あらゆる人が質の高いサービスを受けられ、年齢、性別、地域、言語といった様々な違いを乗り越え、生き生きと快適に暮らすことのできる社会。

第5期科学技術基本計画



# デザインジャパン推進の発表

## Society 5.0 の実現に貢献する会社を目指して、 デザインジャパンを推進 [2018年4月18日発表]

日本マイクロソフトは、政府が掲げる“Society 5.0” 超スマート社会の実現に貢献するために、政府・自治体、教育、ヘルスケアのお客様を担当するパブリックセクター事業本部を中心に、デザインシンキングを活用したお客様提案を2018年5月より開始します。

日本マイクロソフトは、マイクロソフトの企業ミッション「地球上のすべての人とすべての組織が、より多くのことを達成できるようにする」のもと、日本における目指す企業像として「革新的で、安心して使っていただけるインテリジェントテクノロジーを通して、日本の社会変革に貢献する」を掲げています。そして、この企業像に少しでも近づくべく、日本の社会変革の一助となるような取り組みをお客様、パートナー様と進めています。



### ニュース

パブリックセクター事業でデザインシンキングアプローチを開始——、マイクロ!

“人の一生に寄り添うマ

マイクロソフトの海外政府事例を日本に取り入れる

**日本MS、政府担当営業部内に「サービスデザイン思考」専門チーム新設**

2018年04月19日 08時30分更新

文 ● 羽野三千世 / TECH.ASCII.jp

# 世界の行政機関のサービスデザインの取り組み

## ① 行政サービス、政策の再デザイン

- 住民視点での新サービスの創出、既存サービスの改善
- 提供者側の理屈ではなく、利用者側の視点に立ち、提供者側の仕組み、システム、プロセス、ファシリティなどを改善する

## ② 行政自らがデザイン機能を保有し、かつそのノウハウを提供することで地域の経済の活性化

- サービスデザインのツールやハンドブックなどを公開することで、企業等がそれを活用してイノベーションを創出する(新製品、新サービス)

## ③ 行政機関が革新的な製品、サービスを利用することで、住民向けのサービスを向上

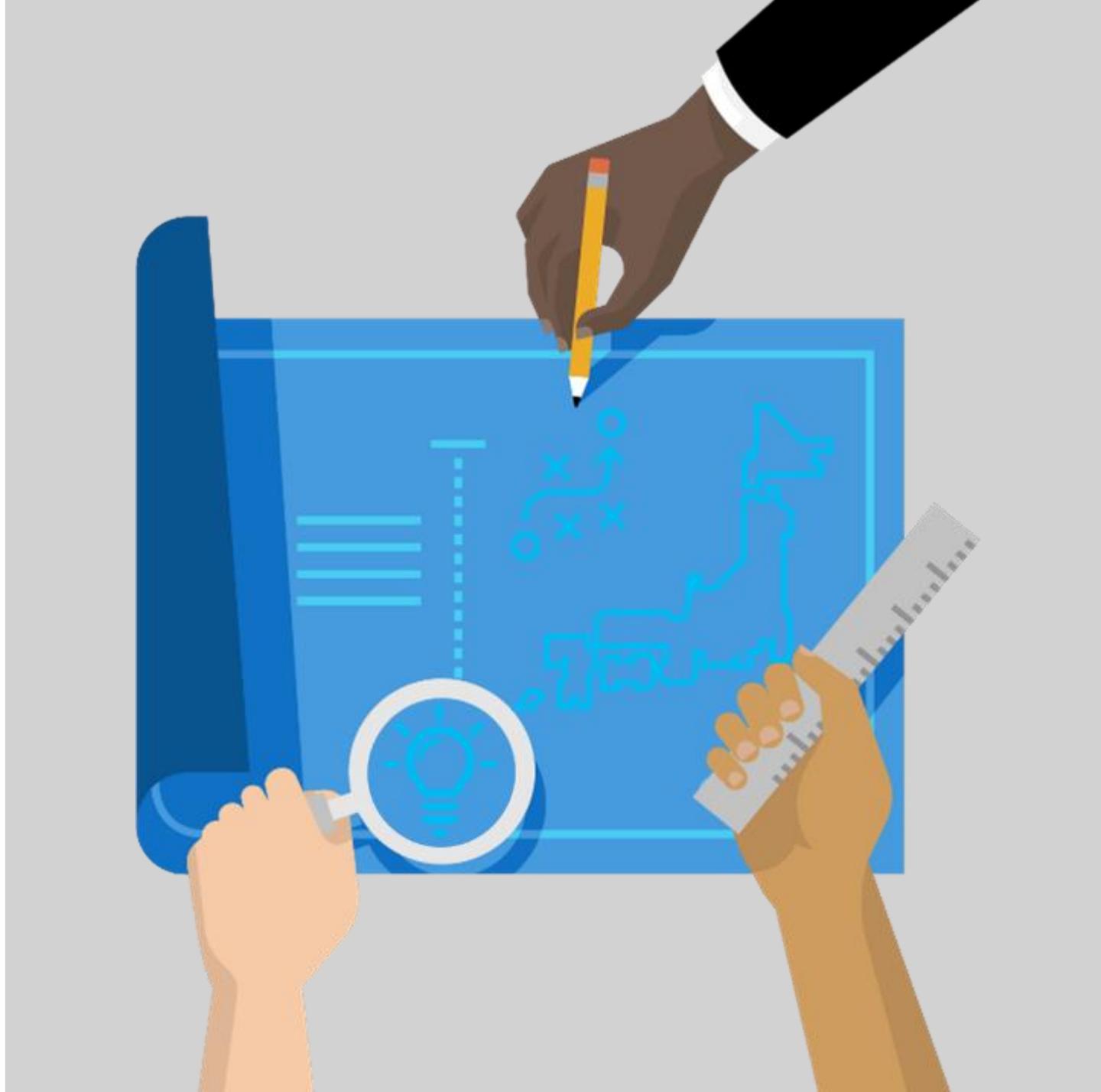
- サービスデザインを実践している企業向けに入札参加等の施策を提供

# 海外政府での取り組み

 <p>The U.S. Digital Service</p>	ホワイトハウスのUnited States Digital Service（以下USDS）と、デジタルサービスの構築・改善を行う一般調達局内の18Fが連携して部門横断的な サービスデザイン導入を推進している
 <p>Canadian Digital Service</p>	カナダでは、イノベーション・科学経済開発省（Innovation, Science and Economic Development Canada、以下ISED）が先行してツールキットの開発などを行っていたが、2017年に内閣の国家財政委員会（Treasury Board of Canada Secretariat、以下TBS）直下にCanadian Digital Service（以下CDS）が設立され、部門横断的なサービスデザイン導入を主導している。
	政府ポータルサイトGOV.UK内の「Service Toolkit」で、サービスデザインを実践するためのガイドやツールキットを公開し、能力育成プログラムの提供、実践者同士の学習を促すコミュニティ支援などを行い、能力育成とプロセス標準化のための幅広い活動を展開している。
	デンマークでは、雇用省、商務・金融省、教育省の3省が運営する政府のイノベーションラボである MindLab が部門横断的なサービスデザイン導入を推進している。また、財務省傘下の電子化庁も行政サービスのデジタル化においてユーザー中心でのサービス開発・改善を推進している。（2018年にプロジェクト新規受付中止）
	ニュージーランドでは、内務省に設置されたService Innovation Lab（以下SIL）が、民間のデザインファームやNGOなどと連携して、部門横断的なサービスデザインの導入を推進している。

行政におけるサービスデザイン推進に関する調査研究 （一社）行政情報システム研究所 より抜粋  
<https://www.iais.or.jp/reports/labreport/20180331/servicedesign2017/#>

# クラウドの セキュリティ



# クラウドコンピューティングの定義

基本的な特徴：

## オンデマンド・セルフサービス (On-demand self-service)

ユーザは、各サービスの提供者と直接やりとりすることなく、必要に応じ、自動的に、サーバーの稼働時間やネットワークストレージのようなコンピューティング能力を一方向的に設定できる。

## 幅広いネットワークアクセス (Broad network access)

コンピューティング能力は、ネットワークを通じて利用可能で、標準的な仕組みで接続可能であり、そのことにより、様々なシンおよびシッククライアントプラットフォーム（例えばモバイルフォン、タブレット、ラップトップコンピュータ、ワークステーション）からの利用を可能とする。

## リソースの共用 (Resource pooling)

サービスの提供者のコンピューティングリソースは集積され、複数のユーザにマルチテナントモデルを利用して提供される。様々な物理的・仮想的リソースは、ユーザの需要に応じてダイナミックに割り当てられたり再割り当てされたりする。物理的な所在場所に制約されないという考え方で、ユーザは一般的に、提供されるリソースの正確な所在地を知ったりコントロールしたりできないが、場合によってはより抽象的なレベル（例：国、州、データセンタ）で特定可能である。リソースの例としては、ストレージ、処理能力、メモリ、およびネットワーク帯域が挙げられる。

## スピーディな拡張性 (Rapid elasticity)

コンピューティング能力は、伸縮自在に、場合によっては自動で割当ておよび提供が可能で、需要に応じて即座にスケールアウト／スケールインできる。ユーザにとっては、多くの場合、割当てのために利用可能な能力は無尽蔵で、いつでもどんな量でも調達可能のように見える。

## サービスが計測可能であること (Measured Service)

クラウドシステムは、計測能力を利用して、サービスの種類（ストレージ、処理能力、帯域、実利用中のユーザアカウント数）に適した管理レベルでリソースの利用をコントロールし最適化する。リソースの利用状況はモニタされ、コントロールされ、報告される。それにより、サービスの利用結果がユーザにもサービス提供者にも明示できる。

# 公共機関での“真の”クラウドの活用

	利用価値	現在の公共機関の活用	課題	公共機関での価値評価	検討すべき分野
オンデマンド・セルフサービス	ユーザーがIT環境を統制可能	×	設定作業は外部委託されており、行政機関が直接設定を行うことはない。	必要な時に必要なサービスが手に入れば政策実施スピードが向上する	公共向けアプリケーションマーケットプレイス等
幅広いネットワークアクセス	ユビキタスなアクセス	△	ネットワーク分離により、主要な業務システムは外部からのアクセスが難しい	どこからでもアクセスできる働き方改革 住民サービスの向上	インターネット系、住民サービス系、LGWANへの接続
リソースの共用	リソース共有によるコスト最適化	△	共通のルールがなく、セキュリティへの懸念からシングルテナント型	占有システムではコスト高、共有型でコスト削減が可能	パブリッククラウド認定 セキュリティ基準の明示
スピーディな拡張性	迅速なサービスの投入	×	ホスティングのため、拡張には契約手続き、拡張手続き等時間がかかる。	不測の事態や急激なサービスニーズの増加に対応が可能	パブリッククラウド認定
サービスが計測可能であること	所有から利用へのシフト	×	予算と執行の仕組みが利用型になっていない	利用資源に応じた費用によりコストの削減	利用に応じた可変型の予算執行、入札仕様の策定

# クラウドセキュリティー共有責任モデル

## セキュリティに関する責任分界点

クラウド事業者が  
公共機関のセキュリティ  
を保証する仕組みの導入  
↓  
公共機関のセキュリティ  
対応の迅速化、効率化、  
強靱化

Responsibility	On-Prem	IaaS	PaaS	SaaS
Data classification & accountability	Cloud Customer	Cloud Customer	Cloud Customer	Cloud Customer
Client & end-point protection	Cloud Customer	Cloud Customer	Cloud Customer	Cloud Customer / Cloud Provider
Identity & access management	Cloud Customer	Cloud Customer	Cloud Customer / Cloud Provider	Cloud Customer / Cloud Provider
Application level controls	Cloud Customer	Cloud Customer	Cloud Customer / Cloud Provider	Cloud Provider
Network controls	Cloud Customer	Cloud Customer / Cloud Provider	Cloud Provider	Cloud Provider
Host infrastructure	Cloud Customer	Cloud Customer / Cloud Provider	Cloud Provider	Cloud Provider
Physical security	Cloud Customer	Cloud Provider	Cloud Provider	Cloud Provider

Legend: ■ Cloud Customer, ■ Cloud Provider

# マイクロソフト 公共機関向けクラウド利用促進プログラム



政府・  
行政機関



ヘルスケア



教育機関

公共機関およびパートナー企業向け人材育成プログラム

公共機関向け災害対策支援

ガバメント  
クラウド早期導入支援

ガバメント  
クラウドエキスパート

ガバメント  
パートナーソリューション

ヘルスケア  
アドバンステクノロジー

ヘルスケア  
セキュアクラウド

ヘルスケア  
ワークスタイルイノベーション

子どもの学び方  
Future-ready skills

先生の教え方  
Microsoft Innovative Education Programs

学校での働き方  
Microsoft Education Community

マイクロソフトのクラウド基盤